

崖線下の草原で環境調査



夏休みに入ったばかりの7月23日、調布地域協議会主催の「生き物環境調査」に参加しました。毎年同じ場所・時期に実施する定点観測という方法です。

当日は子ども9人と保護者などの大人を含めて32人が参加して、昆虫採



集・観察を楽しみました。現地は崖線下の草原で、周辺には民家も農地も水田もある里山の一部です。北側には中央高速も走っていて目を閉じると車の走行音も聞こえます。この日もオニヤンマやシオカラトンボ、ショウリョウバッタ、カブトムシ、キアゲハ、モンキチョウなどの昆虫が集まりました。

最後に採集した昆虫などを持ち寄って、名前や特徴などを二人の講師から説明していただくのですが、この説明が詳しく面白くて子どもも大人も何度も参加する人が



多い人気のイベントです。来年は是非ご参加ください。最後には昆虫を放し、ジュースで喉を潤して解散しました。

CAPプログラムを体験して

10月1日、調布地域協議会主催CAPプログラム*を体験する「おとなワークショップ」に参加しました。実は3回目の参加ですが、そのたびに自分の生き立ちと子育てを顧みて、「ああ、ありのままを受け入れられることも、受け入れることとしてこなかった」と胸に刺さるものがあります。

プログラムでは、ロールプレイを通して、すべての人が持っている大切な権利「安心 自信 自由」をわかりやすく教えてくれます。そしてその権利が侵害されたとき子ども自身はどうすればいいのか、大人はどう向き合えばいいのか、考えます。たとえばいじめられて安心が侵害された時、「イヤだ」と言える力、友達や周りの大人に相談できる力（自信）は、自分の存在をありのまま受け止められているという安心感や自己肯定感がなければ発揮できません。

子ども時代に大切な権利が自分にも他者にもあるということを学ぶことは、信頼される大人に成長していくことです。できるだけ多くの子どもや大人にCAPを体験してほしいと思います。

*「人・まち・風」をご覧ください。



活動報告



- 6/28 広域交通問題等対策特別委員会
- 6/29 調布市基本構想策定推進市民会議⑭傍聴 (⑮7/21・⑯8/5)
- 7/11 日野市クリーンセンター視察 (調布・生活者ネットワーク)
調布LGBT&アライの会講座「教育現場における取り組み
倉敷市の実践」松尾真治氏
- 7/14 調布市議会議員研修会「市民『一人ひとりのSDGs』に向けて」
横山泰治氏
- 7/16 インクルーシブ事業連合主催学習会「介護保険制度20年
これまでとこれから」
- 7/20 国立市子どもの権利オンブズマン視察
- 7/23 調布地域協議会主催 かに山生き物調査
- 7/28 東京大学バリアフリー教育開発研究センター主催「学校現場の
現状からインクルーシブ教育を考える」宮澤弘道氏
- 7/30 調布・狛江主催 台風19号浸水被害への取り組みに関する説明会
- 7/31 調布・生活者ネットワークおしゃべりカフェ (議会報告)
- 8/3 第3回新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会 傍聴
- 8/4 第2回調布市議会臨時会
- 8/10 調布市議会全員協議会 (次期基本構想策定の検討状況)
- 8/11 調布LGBT&アライの会講座「多様性へのこれからの支援・教育の
あり方」(津田育久子氏)

- 8/12 議員財政研究会 8/15 調布・生活者ネットワーク財政学習会
- 8/20 調布のまちづくりを考えるワークショップ (三小) 傍聴
- 8/24 第2回教育プラン策定検討委員会傍聴 (③9/16)
- 9/5~28 第3回調布市議会定例会 9/7 総括質疑・上程時質疑
9/12 一般質問
- 10/1 調布地域協議会主催 CAPプログラム学習会



6/28 江戸川区児童相談所
はあとポート視察



8/9 調布市立第七中学校
「はしうち教室」視察



9/13 調布・生活者ネットワーク
国舞反対スタンディング



9/22 調布・生活者ネットワーク
世界気候アクション